

時事ドットコムニュース > 特集 > 特集「緊迫！朝鮮半島」 > ミャンマー経由で不正輸出図る

特集「緊迫！朝鮮半島」



ミャンマー経由で不正輸出図る

大量破壊兵器などに転用可能な磁気測定装置をミャンマーへ不正輸出しようとしたとして、神奈川県警外事課と戸部署は29日、外為法違反（無許可輸出未遂）容疑で、工作機械輸出入会社「東興貿易」（東京都新宿区）の社長で、朝鮮籍の李慶鎬容疑者（41）ら3人を逮捕した。県警によると、3人は容疑を認めているという。

ほかに逮捕されたのは貿易商社「大協産業」（渋谷区）社長武藤裕彦容疑者（57）、同装置製造メーカー「理研電子」（目黒区）社長香月巳昭容疑者（75）。

同課などは、ミャンマー経由で北朝鮮に不正輸出しようとした可能性があるとみている。

逮捕容疑は2009年1月、経済産業省の許可を受けずに、磁気測定装置をマレーシア経由でミャンマーに輸出しようとした疑い。同装置は、核兵器製造などに転用可能として輸出を禁じる「キャッチオール規制」の対象製品で、同社は08年にも許可を受けずにミャンマーに同装置を送ろうとしたとされる。

県警によると、李容疑者は貿易商社「東新国際貿易有限公司」北京事務所から指示を受けていたという。大量破壊兵器の開発に関与の可能性がある企業を公開した、経産省の「外国ユーザーリスト」には同社平壤事務所が掲載されている。

磁気測定装置は、永久磁石を製造する過程で適性素材の見極めなどに使用される。永久磁石は、ウラン濃縮に使用される遠心分離器の軸受け部分などにも使われるという。

他国を経由して北朝鮮などに不正輸出を図るケースは多く、北朝鮮とミャンマーは協力関係が強いとされる。



工作機械輸出入会社社長らが、ミャンマーに不正輸出しようとした磁気測定装置（神奈川県警提供）＝2009年6月29日【時事】

連載小説【第70回】メール



ピックアップ

 選挙継続へ 重大局面	 NY早食い 10度目V	 30歳誕生 日は不発	 私は被害者 店続けたい
 朝から行列 「歴史的」	 休業損害金 も請求へ	 弁護士「思 わず涙が」	 サメ襲撃 俳優死亡
 コスト高騰 で値上げ	 14日国内 復帰初戦へ	 ふん混入か 菓子回収	 フェラーリ 最新モデル

【前ページ】総書記の動静報道、1.5倍に
後継者問題で不協和音なし【次ページ】

前へ 2 3 4 5 6 次へ